confa

「confa」はConsumer（消費者＝道民）とFarmer（農業者）のConsensus（合意）から名付けたもので、「消費者と農業者がもっとふれあえるように」「都市と農村をつなぐ架け橋になりたい」という想いを込めています。

もくじ 2022 春号 vol.58

1	［ 特集 ］ 農業を、仕事にする。
7	お酒と農の話
9	ふれあいファームへようこそ
13	キラリ★農業系高校
15	コンファ農業教室
17	農家の道具論
18	北海道からのお知らせ
19	季節のごちそう

confa公式アカウント

記事の紹介やお知らせなどを配信中!
ぜひ、チェックしてくださいね。

Facebook
@confa.hokkaido

Instagram
@confa.hokkaido

電子ブック公開中！
Hokkaido ebooks

こちらのQRコードを
読み取ってください。

※スマートフォン、タブレットの方は専用アプリ（無料）をダウンロードのうえ、ご利用ください。

http://www.hokkaido-ebooks.jp

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

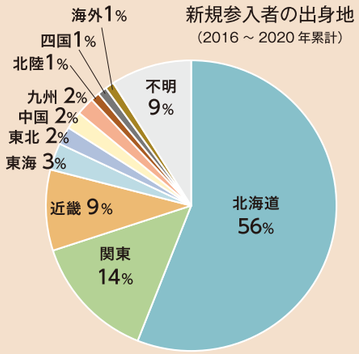
［特集］農業を、仕事にする。

農業を「仕事」として見たとき、
その先にはどんな世界が広がっているのだろう。
全くの未経験から
新規就農した二組の夫婦を訪ね、
就農するまでの物語や、
農業・地域への想いなどを聞いた。

農業にチャレンジする人々

新規就農者のうち、農家以外から新たに農業を始めた方を「新規参入者」と呼ぶ。道内の新規参入者の出身地域のおよそ4割が道外で、関東出身者が1割強となっている。

新規参入者の出身地
（2016 ～ 2020 年累計）



経営コンセプトは、「牛も人も笑顔で」。酪農の楽しさを伝えたい

CASE1
中標津町
小林 盾哉（じゅんや）さん 朱音（あかね）さん
ご夫婦

ドラマよりドラマチック!? 新たな人生を求めた決断は…

道東・中標津町計根別地区に2019年、新規就農による「小林牧場」が誕生した。2020年には、「ぷくぷくファーム」の名前でSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や、インターネット上の動画共有サービス・ユーチューブを通じて情報を発信。ユーチューブチャンネルの登録者数は3000人に迫ろうとしている。

盾哉さんは大阪府出身。20代でさまざまな職種を経験した後、仕事として「酪農」を選んだ。国の農業政策を知り、24歳の時に「これからは農業だ」と確信。当時、付き合い始めたばかりの朱音さんと、大阪で開催された農業フェアに参加した。野菜農家を目指してブースを回るうち、JAけねべつの担当者と運命的な出会いをする。

「毎日牛乳を搾って、それを取りに来てくれる集荷システムがある。そして、売り先も決まっているところが、とても魅力的に思えたんです」と盾哉さん。

朱音さんは「いきなり『農業をする』と言われて戸惑いました。でも農業フェアでお話を聞くうちに、酪農への魅力を感じました。元々、動物が好きだったのも大きかったですね」と当時を振り返る。農業フェアから半年後、二人は別海町で1週間の酪農体験に参加。「作業で疲れた夜、見上げたら星がすごくきれいで感動しました」と朱音さん。

体験から3カ月後、盾哉さんは別海町で研修生活をスタートし、翌年には、大学を卒業した朱音さんも加わり、二人で酪農を基礎から学ぶ。2019年、離農した跡地を第三者継承して新規就農を果たした。